

**さいたま市オリンピック・パラリンピック教育  
 1校1国運動**



市教育委員会が推進している、さいたま市オリンピック・パラリンピック教育において、各校で1校1国運動への取組が盛り上がっています。



植水小学校は、これまでも長きに渡り交流のあった応援国「マリ共和国」の人々に喜んでもらいたいという思いから、苗植えから収穫まで関わったお米を送るため、アジア・アフリカ支援米発送式に参加するなどの活動を行いました。米袋には、児童がフランス語のメッセージなどを書きました。



田島小学校は、応援国「オランダ」の応援コーナーを設置し、著名人、国技や盛んなスポーツなどの情報発信をしています。また、「オランダ給食」では、献立の紹介や使われている食材の説明を聞き、クロケットやエルデンスープなどオランダならではの食事に興味をもちながら、美味しく食べました。

**beyond2020マイベストプログラム**

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局より承認をいただいた本プログラムへの取組として、新体力テスト記録用紙を作成し、全ての小・中学校へ送付いたします。また、新体力テストに向けて、様々な運動においても目標を設定し、体力向上に取り組んでいます。



**～学校が変わる 教育が変わる～  
 「未来を拓くさいたま教育」推進プロジェクトを開始します！**

さいたま市教育委員会では、この度、「未来を拓くさいたま教育」推進プロジェクトを開始いたします。

本プロジェクトは、第2期さいたま市教育振興基本計画の基本理念である「人生100年時代を豊かに生きる『未来を拓くさいたま教育』の推進」に当たって、「教育のちから」を最大化し、個別の事業実施では生み出せなかった、未来につながる新たな価値を生み出し、効果的・効率的に教育行政を推進するために行うものです。

本市が昨年7月に内閣総理大臣を本部長とする「持続可能な開発目標（SDGs）推進本部」において、「SDGs未来都市」に認定されたことを踏まえ、人生100年時代を市民一人ひとりが輝き続ける力をはぐむ教育を、持続可能なかたちで進めていく必要があると考えています。



さいたま市は2035年頃まで、人口が増加傾向。市民のニーズに応える質の高い教育の推進が大切だね！



**「未来を拓くさいたま教育」推進プロジェクト** さいたま市教育委員会

**目的** 子どもたちがこれからの時代を生きるために必要な資質・能力をはぐみ、地域コミュニティの核となる**魅力ある学校づくり**と、市民満足度の向上に資する**持続可能で質の高い教育環境の整備**を実現します！

**目的** 子どもの学びの質の向上、意欲の醸成

**目的** 教育の質の向上、意欲の醸成

**目的** 地域コミュニティの核となる魅力ある学校づくり

**目的** 人生100年時代を豊かに生きる力を育む

**目的** 安全・安心な環境のもと、学校・家庭・地域みんなで子どもをはぐむ

**目的** 人生100年時代を豊かに生きる力を育む

**目的** 安全・安心な環境のもと、学校・家庭・地域みんなで子どもをはぐむ

**目的** 学校の力アップにつながる生涯学習推進の整備

**本市の現状・時代の要請**

**学校規模の異質化**

クラスタ別の41校上級3校

2019年度	2025年度
1位 39学校	1位 40学校
2位 36学校	2位 39学校
3位 35学校	3位 38学校

クラスタ替えが可能な学生がある学校数

2019年度	2025年度
12校	16校

**学校プールの現状**

市内41校、プール設置校数

2019年度	2025年度
22校	17校

**学校・家庭・地域のつながり**

購買品	96.4%	95.3%	95.0%
授業料	58.6%	73.3%	72.9%
給食費	14.0%	9.4%	11.0%

**生涯学習の現状**

さいたま市が「文化芸術に親しむまち」となるために、精力を入れてほしいと望むことはありますか？

1位 美術館などの観覧を充実させる

2位 博物館、コンサート・ホールなどの活用施設の充実を促す

**体育施設に関する市民ニーズ**

さいたま市市民の必要とするスポーツできる施設が不足していると感じますか？

1位 コーヒーショップ、カフェ、コンビニ

2位 図書館、コンサート・ホール

3位 児童センター

4位 スポーツ施設

**人材の確保**

OSDGの推進、持続可能な教育環境の整備

OSDGの推進、持続可能な教育環境の整備

OSDGの推進、持続可能な教育環境の整備

**教育長室の窓から**

Society 5.0を見据え、GIGAスクール構想をはじめとした国の大きな動きは、個別最適化された学びの実現に向けた新たな出発点と言えます。ICTを活用した授業の進展に伴って、これまでのペーパー中心の授業からタブレット型コンピュータを利用した授業へと学びの形だけでなく学びの質も大きく変わっていくことになります。「学びが変わる」ことを見据えつつその中で、CBTで行われたPISA（国際的な学習到達度調査）で課題が指摘された生涯学び続ける力の下支えとなる読解力の向上に取り組む必要があります。

これまでも指導を重ねてきている教科書等の文章を読み取る力だけでなく、意図的・計画的に全ての教科等において、情報を探し出す力、理解する力、評価し熟考する力を着実に、そして、確実に児童生徒にはぐんでいかなくてはなりません。教育委員会では、児童生徒の新たな未来を創り出す力につながる読解力の向上に向けた施策を推進してまいります。

(CBTはComputer Based Testingの略。紙でなく、コンピュータを用いて行うテスト。)



## 令和元年度教育委員会表彰式

令和2年1月6日(月)、市民会館うらわにおいて、教育委員会仕事始めの式に引き続き、令和元年度の教育委員会関係の表彰式を実施しました。今年から、例年の「教育委員会職員表彰」に加え、これまで別日程で表彰していた「教育功労賞」「優秀教職員表彰」、また新たに設けた「学校業務改善表彰」も併せ、4つの表彰を行いました。



### 教育功労賞

教育行政・学校教育の振興発展に尽力し、その功績が特に顕著な6名の方を表彰しました。表彰者は以下の通りです。

久保田 章	副教育長
石田 耕一	大宮東小学校長
加藤 明良	本太中学校長
小林 広利	大原中学校長
五十嵐 圭一	桜木中学校長
村瀬 修一	ひまわり特別支援学校長

### 優秀教職員表彰

資質に優れ模範的であり、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げている、8名の教職員と2校の教職員組織を表彰しました。表彰者は以下の通りです。

本太小	上園智恵子(体育科・教育相談)
三室小	古市 恵(学校事務)
日進小	坂西 淳子(理科)
上小小	秋山 泰孝(算数科)
常盤中	長谷川百合矢(保健体育科・生徒指導)
土呂中	永瀬 友紀(学校保健・保健室経営)
浦和中	中田 千穂(教務全般・国語科)
大宮北高	田村 守行(理科)
神田小	働き方改革
植竹小	地域との連携・協働(盆栽教育)

### 学校業務改善表彰

特に推進したい学校業務改善の取組について、教職員による投票の結果、投票総数の最も多い学校を校種ごとにグッジョブ賞として3校を、他校が取り組んでいない特に推進すべき取組を実施した学校をナイスアイデア賞として2校を表彰しました。表彰校は以下の通りです。

グッジョブ賞	谷田小学校 本太中学校 浦和高等学校
--------	--------------------------

ナイスアイデア賞	大門小学校 日進北小学校
----------	-----------------



### 教育委員会職員表彰

日々の職務に真摯に取り組み、他の職員の模範となる職員として、各部等から推薦された6名の職員を表彰しました。

表彰者は以下の通りです。

川瀬 貴大	教育財務課 主事
天野 庸子	総合教育相談室 (岸町教育相談室) 主任
出木 雄太	博物館 主任
後藤 達也	鈴谷公民館(上落合公民館) 主事
長谷川 彩香	北浦和図書館 主事
伊藤 万里	美園北小学校 業務主査

### 編集後記



教育委員会だより第13号はいかがでしたでしょうか。今後も、定期的に各課所室から、教育委員会の今を伝える情報を発信してまいります。  
【第13号編集担当】 管理部教育政策室 048-829-1626